



上芭露小学校閉校式 記念碑除幕式・お別れ会

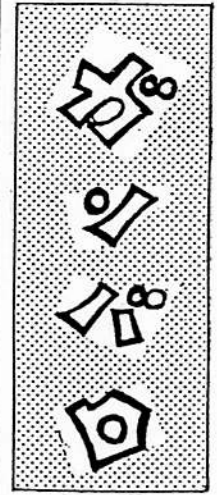
日 時 平成3年3月16日

場 所 閉校式 上芭露小学校 教室
除幕式 上芭露小学校 校庭
お別れ会 上芭露小学校 体育館

第44回卒業式	閉校式	記念碑除幕式	お別れ会
10:00	11:00	12:00	13:00

上芭露小学校の 閉校式

上芭露小学校は、明治四十一年に上芭露の民家を借り受けて「芭露簡易教育所」として開校したのが始まりで、現在地にいたるまで基線十三号、市街高台地と校舎校庭を三度変わり、その間、八十四年の長い歴史と伝統の中に育まれ本校を巣立った卒業生は一千八百余名を数えるまでになりました。しかし、社会経済の変化で地域



平成3年3月21日
第45号
清野新聞社

は過疎化、高齢化を余儀なくされ最盛時には三百名以上もいた児童数が現在は十三名にまで減少してしまいました。

また、校舎も老朽化して、施設整備の整った環境の基で子弟教育を図ろうという父兄の意見が大勢となり、昨年四月の上芭露自治会総会において、平成三年三月三十一日をもって芭露小学校に統合することになったものです。

以来一年近く、小学校の歩み、歴史を後世に残そうと閉校実行委員会を中心に閉校式、記念誌編集記念碑の建立等の準備が進められ三月十六日(土)に閉校式典など一連の行事が執り行はれました。当日は穏やかな小春日和に恵まれました。

清野家関係では生田原(正居)紋別(ヒサヨ)が前日からわが家に来ていたほか、当日は初雄、修が出席。(岩雄さんは入院中で欠席)

午前中は関係者で卒業式、閉校式。正午から正門前の二宮尊徳像の横に建立された閉校記念碑の除幕式。午後一時からは体育館でお



別れ会が開かれ同窓生等約四百人が出席し大盛況でした。

在校児童の演技演奏では、全員による器楽演奏や縄跳びが行われましたが、そのレベルの高さは目を見張るものがあり会場から大きな拍手が沸き上がりました。児童一人一人への行き届いた教育が伺われ、都会の大規模校にはない良さを感じました。

お別れ会の後は温根湯温泉の大江本家で同窓会が行われました。校舎は取り壊され、跡地には地域のセンターとして公民館が建設され、小学校の各種資料もその中に保存ます。

閉校式に出席して

翌週の月曜日から北海道出張ということで土曜日の早朝に自宅を出発。機体の修理で一時間程遅れて雨の羽田を離陸。

北海道は晴天で道内に入って高度を下げて来ると雪原がまぶしい。雄阿寒岳、女阿寒岳の山頂だけは

真っ白い帽子をかぶっているが平野部の畑は雪が溶け、部分的に黒い土が顔をしている。オホーツク海の遙か遠くには去っていく流水が見え、春の訪れを近くに感じさせる。

女満別空港へ、お祖父ちゃんに迎えに来てもらい、車で上芭露へ国道は全く雪はなく、日中はコートもいらなくらい暖かい。でも地上から見るオホーツク海はやはり厳しく、流水の残雪が白い波間に漂い、岸に流れ着いて来る。特にサロマ湖は流水が入り込んで岸までギッシリと覆われている。

一時間ちよつとで上芭露に到着するとちよつと除幕式の最中。お別れ会は午後一時からで、会場に入ると懐かしい顔がいっぱい久しぶりの再開にあちこちから歓声があがる。私も思わず何人かと固い握手をしてみよう。

「もしかして、おさむちゃんではないかい!」という調子。我々の年代では、ちよつと子育ての手が抜けたということか、女性の出席が多い。顔は解るが名簿に旧姓が書いてないので誰だったかなと考えながら話しているうちに思い出す。

お世話になった先生達もたくさん会えたが、退職したり、しわ顔のおじいさんになったりと様々。夕方から、おじいちゃんたちは

沿 革 抄

- 明治四十一年 上芭露簡易教育所設置
- 上伊沢氏住宅を飯校舎として発足
- 四一年 基線一三号に新校舎完成
- 上芭露教育所と改称
- 天正 二年 上芭露尋常小学校と改称
- 五年 一七号市街高台地に校舎移転新築
- 四一年 上芭露尋常高等小学校と改称
- 高等科設置
- 昭和 三年 閉校二〇周年記念式典挙行
- 一六年 上芭露国民学校と改称
- 二二年 上芭露小学校と改称
- 二七年 現在地にブロック造校舎移転新築
- 二八年 湧別町立上芭露小中学校と改称
- 三二年 閉校五〇周年記念式典挙行、校歌制定
- 四四年 中学校閉校、湖陵中学校に統合
- 五二年 開基閉校七〇周年記念式典挙行
- 平成 三年 上芭露小学校閉校、芭露小学校に統合
- 閉校式・記念碑除幕式・お別れ会挙行

卒 業 数

- 尋常科、初等科、小学校卒業業者数 一、四七六名
- 補習科、高等科卒業業者数 七〇二名
- 中学校卒業業者数 五四〇名
- 延べ総数 二、七七八名
- (在籍児童・生徒最高数 昭和十二年 三一〇名)

温根湯温泉で同窓会。私はかねてから手配していたクラス会を遠軽の仲通り(今は友愛通り)で。今回は8名が集まり懐かしい話がつきない。「すっかりおじさん(おばさん)になってしまってます!」という感慨はお互い様か。翌日は午前中すこしだけピートの種蒔を手伝った後、紋別空港から千歳空港へ。便利になりました。